

令和7年度 第1回金沢市食品ロス削減推進協議会

日時 令和7年5月29日（木）10:00～11:30

場所 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2203会議室

次 第

1. 開会
2. 議事
 - (1) 令和6年度食品ロス削減推進事業報告 【資料1】
 - (2) 令和7年度食品ロス削減推進事業（案） 【資料2】
 - (3) 金沢市食品ロス削減推進計画の改定について 【資料3】
3. その他
4. 閉会

金沢市食品ロス削減推進協議会 委員名簿

令和7年4月1日現在
(順不同、敬称略)

氏名	所属
池本 良子	金沢大学 名誉教授
今井 喜久子	市民（公募）
上田 久美子	金沢市校下婦人会連絡協議会 副会長
鍛冶 一雄	石川県スーパーマーケット連絡協議会 代表幹事
楠部 孝誠	NPO法人いしかわフードバンク・ネット
志賀 嘉子	一般社団法人 石川県食品協会
杉山 朋美	北陸大学薬学部 准教授
橋 宏和	市民（公募）
田中 弘美	北陸学院大学健康科学部 教授
中村 明仁	金沢市旅館ホテル協同組合
鍋島 盛雄	石川県飲食業生活衛生同業組合 理事長
西田 哲次	金沢商工会議所 常務理事
林 貴江	石川県生活学校連絡会
平野 愛子	環境にやさしい買い物のまち・かなざわ共創協議会
宮野 義隆	石川県農業法人協会 常務理事

(15名)

委嘱期間 令和9年3月31日まで

令和 6 年度食品ロス削減推進事業報告

1. 令和 6 年度食品ロス削減推進事業実績について

基本方針 1 食品ロス発生抑制のための普及啓発

施策（1）暮らしの中での食品ロス削減

①食材使い切り料理教室等の開催

3回実施、41人参加、レシピ集 Vol.1～4 配布

②食品ロス削減に関する出前講座（かがやき発信講座）の実施

5回実施、98人参加

③かなざわエコ・スイーツ発信事業の実施

- ・R4、R5のレシピコンテストで募集したレシピを学生が改良（8作品）
- ・レシピ動画制作・発信（X、Instagram、Youtube 等）
- ・アレンジレシピ集作成

④食品ロス削減啓発バスツアー開催（9/8（日））

さつまいも農場、（株）ぶどうの森 視察 29名参加



施策（2）若年者、子どもへの周知啓発

①食材使い切り料理教室等の開催（再掲）

3回のうち2回を親子向けに開催

②食品ロス削減に関する出前講座（かがやき発信講座）の実施（再掲）

不動寺小学校 27人参加

放課後デイグッド 6人参加

③幼児向け出前講座の実施（食品ロスをテーマにした紙芝居の実演）

25園 1112人参加



基本方針2 市民・事業者との協働による食品ロス削減の推進

施策（3）フードバンク事業の推進

①小売店と直結したフードバンクモデル事業の実施（令和3～4年度）

食品を提供する小売店と子ども食堂等を直接マッチングする取り組み。

令和3年度に合意した団体の食材の受け渡しを令和4年度に開始。

施策（4）フードドライブ活動の拡充

①フードドライブ窓口の設置

- 市施設における窓口（平成30年度～）

第二本庁舎、金沢市保健所、泉野・元町福祉健康センター

	提供者数	個数	重量(kg)
R4	1,039	10,903	3,681
R5	918	8,884	3,764
R6	626	5,778	2,442



- 地域における窓口（令和2年度～）

各地域の公民館等にてフードドライブを行う団体を支援。

	開設箇所	個数	重量(kg)
R4	17	5,186	1,305
R5	28	5,707	1,637
R6	35	5,769	2,179



施策（5）食品関連事業者における食品ロスの削減

①「いいね・食べきり推進店」登録制度の実施（令和元年5月～）

食べきりに取り組む市内の飲食店・宿泊施設を「いいね・食べきり推進店」として登録し、食べきりの推進に向けた意識啓発を図る取り組み。
毎月1回、市食品衛生協会主催の食品衛生責任者研修会にて登録PR。

	R4	R5	R6
店舗数	169	175	181



②アプリ「TABETE」を活用したフードシェアリング事業の周知

店舗等で売り切れない食品を紹介・案内し、割引価格で提供するアプリを出前講座等で周知。（アプリ運営：（株）コークッキング）

	ユーザー数	参加店舗数	出品数	購入数
R4	6,098	77	15,071	6,678
R5	6,968	79	23,534	7,789
R6	8,205	74	29,504	8,597



③小売店との食品ロス削減啓発連携事業

スーパー等の小売店と連携した店頭における啓発
キャンペーン。（食品ロス削減月間に合わせて 10 月実施）
2 店舗実施
(ユニーユーストア金沢ベイ店、マックスバリュ金沢示野店)



基本方針 3 食品ロス削減に向けた推進体制の整備

施策（6）関係団体との連携強化

①金沢市食品ロス削減推進協議会の運営

施策（7）庁内関係部局間での連携した施策の実施

①庁内における連携事業等の実施

- ・子育て支援課による「金沢版子ども宅食推進事業」におけるフードドライブの実施
- ・ごみ減量推進課による市民講座やパンフレットにおける食品ロス削減事業の啓発

基本方針 4 食品廃棄物の資源循環の推進

施策（8）適正な再生利用の取り組み促進

①生ごみ堆肥化の促進

- ・電気式生ごみ処理機購入費助成
 - 家庭用 355 件
- ・ダンボールコンポスト普及促進研修会
 - 6 回実施（計 83 人参加）
- ・生ごみ循環システムによる堆肥回収 3,783kg
 - （電気式生ごみ処理機回収 3,476kg、ダンボールコンポスト回収量 308kg）



令和 7 年度食品ロス削減推進事業計画（案）

（1）協議会の運営について

主な内容	開催日程
◇令和 7 年度事業の企画、検討、実施	第 1 回 5月29日
◇食品ロス削減推進計画の改定について	
◇令和 8 年度事業案の企画、検討	第 2 回 11月（予定）
◇次期食品ロス削減推進計画の素案について	

※計画改定に伴う書面協議を実施（8月、1月）

（2）令和 7 年度 事業内容

① 【新】金沢市食品ロス削減推進計画の改定

資料 3 のとおり

② 【継続】フードドライブ事業の推進

- ・フードドライブ受付窓口開設（第二本庁舎、駅西、泉野、元町）
- ・食材使い切り料理教室、レシピ集作成
- ・フードドライブ地域受付窓口開設支援（より自主運営へ誘導）
広報チラシのテンプレート作成
(Word 版、Instagram 版)

実施期間や場所を個別に入れることが可能



<チラシ案>

③ 【継続】いいね・食べきり推進店の拡充

- ・広報活動による推進店の認知度向上
- ・食品衛生責任者講習会において推進店登録の呼びかけ

④ 【継続】食品ロス削減啓発バスツアー

食品ロス削減に取り組む農家や事業者等をめぐるバスツアーをとおして、市民の食品ロス削減への意識醸成を図る

今年度の実施内容

日時：8月2日（土） 9:00～12:30頃

対象：市内在住の小学生とその保護者 15組 30人程度

視察先：①れんこん農家（湖南町）

れんこん畠見学、キッチンカーでの取組説明

規格外れんこんを使用したコロッケ、ソフトクリームの試食



②アルビス大友店（大友2丁目）

フードドライブ体験、バックヤード見学（発注管理、てまえどり等の取組説明）など



③食品ロス削減料理教室（ものづくり会館）

家庭で余りがちな食材を使った飾り巻きずし作り



＜昨年度の様子＞

⑤ 【新】食品ロス削減啓発教材の制作

【内 容】 すごろく制作（令和6年度の金沢工業大学連携事業で提案されたもの）

【対 象】 小学生

- 【その他】
- ・プリントアウトすれば誰でも使用できるものとする
 - ・出前講座や市主催イベントにおいても活用を想定
 - ・制作にあたっては、金沢工業大学の学生の意見を取り入れる
 - ・食文化など「金沢らしさ」も盛り込む予定



横浜市 食ろすごろく



愛知県 クイズすごろく

(3) その他の取り組み

金沢市・金沢工業大学連携事業「プロジェクトデザインⅡ」への協力
・テーマ「食品ロスを削減するために」

金沢市食品ロス削減推進計画の改定について

1. 現計画の根拠法令と位置づけ

- ・ 食品ロスの削減の推進に関する法律 第 13 条第 1 項
- ・ 金沢市ごみ処理基本計画（第 6 期）における食品ロス削減に関する事項の個別計画として位置付けている。

2. 改定の趣旨

現計画は、令和 3 (2021) 年 2 月に策定され、金沢市ごみ処理基本計画（第 6 期）の改定に合わせ、令和 6 年度に見直しを行う予定だったが、国の「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」が同年度内に改定される見通しとなったことから、これに合わせ本計画の改定を後ろ倒しし、当初計画期間（令和 3 年度～12 年度）の中間年である令和 7 年度に改定を行うものである。

3. 食品口ス量の現状

現計画の数値目標（食品口ス量:17,400 トン※目標年:令和 12 年度）
を既に達成している。（令和 4 年度:16,095 トン）

食品 口ス量	H30		R4		増減率
	燃やすごみ中の割合	推定排出量(t)	燃やすごみ中の割合	推定排出量(t)	
家庭系	13.2 %	9,141	9.2 %	6,302	▲31.1%
事業系	24.7 %	12,669	22.3 %	9,793	▲22.7%
合 計	-	21,800	-	16,095	▲26.2%

※推定排出量の合計が実績値と等しくなるように差を按分した。

※数値の表示単位未満を端数処理しているため、各項目の値と合計の値が一致しない場合がある。

令和 7 年 3 月 25 日に閣議決定された、「食品口スの削減の推進に関する基本的な方針」（以下、「第二次基本方針」という。）を踏まえ、また、数値目標再設定の必要性もあることから、今年度に改定を行う。

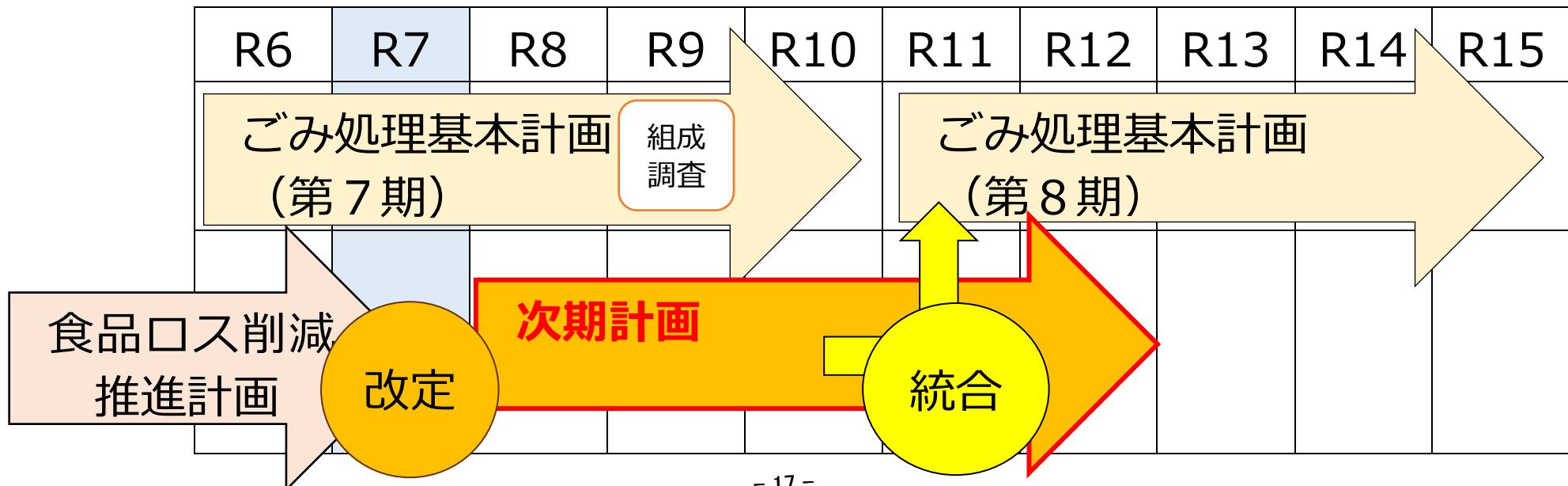
4. 改定スケジュール

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会	[29日第1回] ・計画改定方針案 ・アンケート調査 設問案			委員メール 書面審議 ・施策/目標 値の検討			[第2回] ・素案の審議		委員メール 書面審議 ・最終案審議		
廃棄物総合対策 審議会					骨子案の審議					報告・決定	
市民・事業者		市民・事業者アンケート						パブリック コメント			
市		・現状把握、課題の整理 (アンケート調査、食品ロス量の推計等)									公表
		庁内照会		・目標の設定、施策検討 ・計画案の作成		計画案の最終化 (パブコメの反映等)					

5. 改定方針（案）

（1）計画期間

- ・国の方針と整合性をとるため、5年間（令和8年度～令和12年度）とする。
 - ・ごみ処理基本計画（第7期）の見直し時期に合わせ、ごみ処理基本計画に統合することを想定。（令和11年度～）
- ※参考 食品ロス削減推進計画の策定状況（令和5年度）
⇒ 策定済み市町村（232）の83%が既存計画の一部に位置付け



(2) 数値目標

- ・ごみ処理基本計画（第7期）や第二次基本方針を踏まえた新たな数値目標を設定する

【参考】第二次基本方針（令和7年3月25日閣議決定）

- ・家庭系食品ロス：2000年度比で2030年度までに食品ロス量を半減させる
- ・事業系食品ロス：2000年度比で2030年度までに食品ロス量を60%削減させる
- ・食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者の割合を80%とする

(3) 次期計画の構成案

〈現行計画の構成〉

第1章 計画策定の趣旨	
1-1	計画策定の背景と目的
1-2	計画の位置付け
1-3	計画の範囲
1-4	計画の期間

第2章 食品ロスの現状と課題	
2-1	日本の食品ロス量
2-2	本市の食品ロス量
2-3	本市の主な食品ロス対策事業の現状 (1) 家庭における対策 (2) 事業者における対策
2-4	食品ロス削減に関するアンケート (1) 市民アンケート (2) 事業者アンケート
2-5	課題の整理 (1) 家庭系食品ロス (2) 事業系食品ロス

第3章 計画の基本理念と推進施策	
3-1	計画のめざすもの (1) 基本理念 (2) 基本方針 (3) 各主体の役割
3-2	目標 (1) 計画の数値目標 (2) 国における目標値との比較
3-3	基本方針に基づく施策の展開 (1) 施策の体系 (2) 各方針の施策内容
第4章 計画の進行管理	
参考資料	

〈次期計画の構成案〉

現行計画をベースに構成する予定

(4) 市民・事業者アンケート

①市民アンケート (令和7年7月~)

【対象】e モニター登録をしている市民 250 名

【設問案】

- ・食品ロスという言葉と意味を知っているか
- ・どのくらいの頻度で食品ロスが発生しているか
- ・食品ロスの削減に取り組んでいるか
- ・家庭での食品ロス削減への取組状況
- ・外食時の食品ロス削減への取組状況
- ・食品ロス削減に向け、飲食店が行うと良いことはありますか
- ・賞味期限と消費期限の意味を知っているか
- ・フードドライブ、フードシェアリング事業の認知度
- ・どのような啓発が効果的だと思うか

など

②事業者アンケート

【対象】飲食、宿泊、製造、小売 事業者

【設問案】

- ・食品ロスという言葉と意味を知っているか
- ・食品ロスの発生状況
- ・食品ロス削減の取組状況
- ・食品ロスに関する啓発活動を実施しているか
- ・食品ロス削減に向け、今後取り組みたいと思うことはあるか
など